

Whenever Wherever Festival 2026

alter'narrative' & living space(s)

オルタ“ナラティブ”とliving space(s)
living space(s)は、
いまこの場所、を複数の出来事が
同時にシェアしているところから
立ち上がる

Whenever Wherever Festival (WWFes) は、ダンサーや振付家を中心としたアーティスト・コレクティブが運営する実験的なダンス／パフォーマンス・フェスティバルです。12 回目を迎える WWFes 2026 は、「オルタ“ナラティブ”と living space(s)」をテーマに、東京都港区のパブリックスペースや、コミュニティスペース、区立の施設などを会場に開催します。

WWFes 2026 では、ナラティブに対する新たな視点「オルタ“ナラティブ”」と、「living space(s)」としてのアートプロジェクトの実施形態を焦点にします。

物語には、地域それぞれの共同体などを束ねる力がありますが、その伝播・成り立ちに大きく作用するのが、物語を語る技法・語り方(ナラティブ)なのではないでしょうか。包括的で牽引力のある、いわば強いナラティブに対し、周縁化されたナラティブの複数性に注目すること。そして、異なる個々のナラティブと、そこに立ち現れるさまざまな時間がもたらす断片が反射し、緩やかに交錯する状況。そうした場自体と出来事との影響関係が生成する、微細な変化のかたちをオルタ“ナラティブ”と捉え、プロジェクトを通して前景化することで、都市における場や共同的なあり方を探ることがこのテーマには込められています。

SHIBAURA HOUSE の2日間のイベント「living space(s)」では、公募参加者とアーティストによるそれぞれのプログラムを主催者が共同で企画し、ワークショップ・トーク・パフォーマンスなどが同時多発的に生起します。観客・非観客、プロ・アマの垣根を越えて、多様な生活背景を持つ人々が無意識のうちに侵食し合い、影響をおよぼしながら、複数の出来事同士がフラットに共存する場を生み出すことを試みます。

会場 venue	旧ノグチ・ルーム	SHIBAURA HOUSE
	東京都港区三田 2-15-45 慶応義塾大学三田キャンパス 南館 3F ルーフテラス	東京都港区芝浦 3-15-4
	・「田町駅」徒歩8分 ・「三田駅」徒歩7分 ・「赤羽橋駅」徒歩8分	・「田町駅」芝浦口徒歩7分 ・「三田駅」A4出口徒歩10分
		麻布子ども中高生プラザ 東京都港区南麻布 4-6-7
		・「広尾駅」徒歩7分

 Official site
<https://bodyartslabo.com/wwf2026>

 @bodyartslab
https://www.instagram.com/wwfes_bal

 @wwfes_bal
<https://x.com/bodyartslab>

お問い合わせ |
E-mail: wheneverwherever.2020@gmail.com
Tel: 080-3574-0207 (担当: 岩中)

チケット | ticket

旧ノグチ・ルーム | 山崎広太 戯曲ダンス |
右の眼、交差するデリカシー、青炎球、骨と直線(する)
▶ <https://miginome-ticket.peatix.com>

一般: 3,000円 / 割引: 2,500円

2026年

1月28日 [水] 19:00—

1月29日 [木] 19:00—

1月30日 [金] 19:00—

1月31日 [土] 15:00— | 18:00—

- 割引対象者: 港区在住、在勤、在学、または24歳以下および65歳以上の方(ご来場時、要証明書)
- 未就学児童入場不可

定員: 各回25名

共催: 慶應義塾大学アート・センター (KUAC)
助成: 公益財団法人セゾン文化財団

SHIBAURA HOUSE | living space(s) |

▶ <https://wwfes2026livingspaces.peatix.com>

一般: [1日券] 1,500円、[2日セット券] 2,000円

割引: [1日券] 1,000円、[2日セット券] 1,500円

2026年

2月7日 [土] 11:00—19:00

2月8日 [日] 11:00—19:30

- 1日券の場合は、チケットご購入時に来場日をお選びください
- 割引対象者: 港区在住、在勤、在学、または24歳以下および65歳以上の方(ご来場時、要証明書)
- ワークショップご参加希望の場合、別途、事前予約が必要な場合があります。詳細は、Peatixチケット情報をご覧ください

定員: 各日50名 | 対象: どなたでも

麻布子ども中高生プラザ

| チーム・チープロワークショップ |

ローラースケート de Dance Dance Dance! シーズン2

ローラースケートダンスローラー2026

▶ <https://forms.gle/rdxujJCZCoUWepU9>

小学生～高校生対象: 無料

2026年1月31日 [土] 14:00—17:00

●事前申込制(先着順) 定員: 15名

●定員を超えたお申し込みがあった場合、港区民を優先いたします。

共催: 麻布子ども中高生プラザ

スタッフ |
キュレーター: Aokid、五月めい、西村未奈、山崎広太
制作: 岩中可南子、林慶一

音響(2/7-8): 齊藤梅生 | セノグラフィー(2/7-8): 小駒豪
記録写真・映像: 前澤秀登・加藤和也
グラフィックデザイン: 松本直樹 | ウェブサイト: 中村泰之
協力: てーく

Whenever Wherever Festival 2026

alter'narrative' & living space(s)

2026.1.28 [wed]
— 2.8 [sun]

Whenever Wherever Festival 2026
オルタ“ナラティブ”と living space(s)

会期・会場 |

2026年

1月28日 [水]—31日 [土] | 旧ノグチ・ルーム

2月7日 [土]—8日 [日] | SHIBAURA HOUSE (ほか)

主催 | 一般社団法人ボディアートラボトリー

助成 | (公財) 港区スポーツふれあい文化健康財団 (Kissポート財団)、
アートカウンシル東京 [東京芸術文化創造発信助成 (単年助成)] 芸術創造活動

Artist | アーティスト |

Dates: 1.28—31
The Ex-Noguchi Room | 旧ノグチ・ルーム |

山崎広太 / 石川朝日 / ナット・フレデリクソン /
西村未奈、モテギミユ

Dates: 1.31
Azabu Kids-to-Teens Hall | 麻布子ども中高生プラザ |

チーム・チープロ (企画) / 西澤健人 (スペシャル
ゲストDJ) / 穴山香菜、中屋敷 南、西本健吾、
松本奈々子 (講師)

Date: 2.7
シバウラハウス | SHIBAURA HOUSE |

武本拓也、木村玲奈 / 根本しゅん平、
Aokid / 青柳潤、豊田ゆり佳 / 坂本恭隆、
藤村港平 / 岡直人、西村未奈、福留麻里、
砂連尾理 (書簡) / 宮下寛司 / 山崎広太、
高橋真美 / 都田かほ / 石田武、
話すかわりに踊る、らぼ の一ちらず、
azroom 遠藤朝恵、María de los
Ángeles Pais、NOT GUTTER

Date: 2.8
シバウラハウス | SHIBAURA HOUSE |

西澤諭志 / 金川晋吾 / かのさゆり、
たくみちゃん、Aokid / 青柳潤、西村未奈 /
田中瑞穂、人と地域を元気にする盆踊り
実行委員会、福留麻里 / 時里充、花形槇、
藤村港平、土屋光、チーム・チープロ、
杉本音音、朝井裕介、喫茶みつる、
飯塚大周、NOT GUTTER

助成 | Kissポート財団 | ARTS COUNCIL TOKYO

助成 (山崎広太 戯曲ダンス公演) | 公益財団法人セゾン文化財団

Whenever Wherever Festival 2026

living space(s)

living space(s)は、
いまこの場所、を複数の出来事が
同時にシェアしているところから
立ち上がる

Day1 | 2月7日 [土] 11:00—19:00

会場

SHIBAURA HOUSE

東京都港区芝浦3-15-4

SHIBAURA HOUSEの2日間のイベント「living space(s)」では、公募参加者とアーティストによるそれぞれのプログラムを主催者が共同で企画。ワークショップ・トーク・パフォーマンスなどが同時多発的に生起します。

・プログラムは各時間枠内で実施され、開始・終了時間が前後する場合があります。
詳細は、当日会場でお問い合わせください。

WWFes2026の、SHIBAURA HOUSE以外のプログラム

(山崎広太戯曲ダンス、チーム・チープロ子ども中高生ワークショップ)の
開催情報は、フェスティバルウェブサイトをご覧ください。

<https://bodyartslabo.com/wwf2026>



Day2 | 2月8日 [日] 11:00—19:30

